

## 公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和6年4月22日

団体名 岡崎川柳研究社

代表者 山下 吉宣

構成員 43人

（※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

文芸としての川柳の普及と会員の作句力の向上、そして一人でも多くの市民に川柳の魅力と楽しさを伝え、高齢化社会の中での生きがいや楽しさを提供することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。  
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益 <sup>※1</sup> を受けるのは 誰(何)か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員 <sup>※2</sup>		
4月から5 年3月31 日	矢作市民 センター	一般市民	15人	0人	愛好者への作句 指導	楽しみながら川柳の作 句を楽しんでいます。
4月1日	西部地域 交流セン ター	市民(大会参 加者)	100 人	50人	市民川柳大会	会員以外にも多数の 参加があり、作句力 を競い合った。
11 月 18 日～ 19日	竜美丘会 館	一般市民			会員の作品展示 と川柳教室開催	市民の方に川柳の楽 しさを紹介。
4月から 5年3月	南部市民 センター	会 員		25人	川柳の作句指導 と句会	会員の交流と作句力 の研鑽

※1 **公益** 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 **会員** 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人  
☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

## ■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 4 ③ 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

ボランティア活動ではないので、公益性といえば3程度だとは思いますが、竜美丘会館の文協文化祭では、川柳教室を開催し、川柳について楽しく学んでいただけたと思う。